

👁️ 問題12

眼の解剖と生理

□□□

解法の要点

解説

基本事項

視覚器に関して、正しいのはどれか。

1. ビタミンBの欠乏で夜盲症を起こす。
2. 光を屈折させる目の構造として角膜がある。
3. 輻輳反射では瞳孔が拡大する。
4. 眼底静脈は動脈硬化の評価が可能である。

Ⅲ-10Ad

視覚器は、直径約24mmの眼球を中心とし、これに視神経、眼球付属器が付属して構成されている。基本をしっかり理解しておこう。(RB-L2)(RB-L2)

- × 1 夜盲症はビタミンAの不足で起こる。暗所視に関与するのは杆体細胞であり、杆体細胞の働きにビタミンAが関与するためである。
- 2 文章どおり。角膜は水晶体と共に外界からの光線を通過・屈折させて、眼底の網膜上に像を結ぶレンズの役割を担う。
- × 3 輻輳反射では瞳孔が縮小する。輻輳反射とは眼前の物体を見るときにの運動である。左右の眼球が内側に寄り、それに伴い瞳孔が縮小し、遠近を調節するためレンズが厚くなる
- × 4 眼底動脈は血管の状態を直接観察できる唯一の動脈である。動脈硬化や糖尿病性変化などの評価が可能である。

正解 2

▼ 眼球の構造

